

攻めの自動化・多角化 成長を加速 業界展望

製造業を取り巻く環境は、原材料やエネルギー価格の高騰に加え、深刻な人手不足と建設現場の工事遅延といった複合的な課題に直面し、依然として予断許さない状況が続いている。一方で半導体製造向け需要の回復やアタセメント建設の加速、世界的な省力化投資の拡大といった新たな好機も確実に浮き出ている。各社は新鋭の複合加工機や協働ロボットを積極的に導入し、生産工程の無人化や24時間稼働の実現を強力に推進している。生計AIの活用による熟練技能の可視化といったデジタル化の進展も海外人材を採用する動きも加速しており、柔軟かつ攻めの経営姿勢が鮮明となつてい

さらに航空宇宙や防衛といった成長分野への新規参入、サテライト事業展開、戦略的提携による生産ノウハウの共有など、持てる成長を見据えた多角化戦略も活発だ。独自の技術力と創意工夫によって次なる成長エンジンを用意しつつある。現在の景況感や将来展望を語ってもらった。

相沢鉄工所

— 景況感の現状は —
「日本機械工業会」の予測では2026年の受注額は4.0倍と大幅増を予想。アタセメントや半導体市場の回復が追い風となつ、自動化ニーズも多。一方で国際情勢のリスクは引き続き留意が必要だ。

— 重点分野は —
昨年のMTR、OKYOで発表した汎用シャーシの新機「ADVシリーズ」の出荷を4月から開始し、普及元年に向けて市場浸透を図る。ロボットを活用した自動化ラインなどの高度な受注に注力。また、アタセメントと連携して、ミニマムから特定技能受注者の2人を工場に招き入れる計画だ。

— 中核機械を再手戻る —
リボンとサステナブル(R&D)事業については、「R&D」と「メンテナンス」も浸透しつつあり、新機より安価なサービス提供が、即納可能という点が評価されている。再生済在庫機を専用ウェブサイトに掲載している効果から、引き合い・受注も大きく伸びている。一方、AI人工知能を活用した自動検査開発のGo to Tech事業は、3月で最終年度を締め、現在は商品化に向けた取組を継続している。



社長 相沢邦充氏

汎用シャーシ新機「ADVシリーズ」出荷開始

— 景況感の現状は —
「非常に人手不足と建設現場の工事遅延といった複合的な課題に直面し、依然として予断許さない状況が続いている。一方で半導体製造向け需要の回復やアタセメント建設の加速、世界的な省力化投資の拡大といった新たな好機も確実に浮き出ている。各社は新鋭の複合加工機や協働ロボットを積極的に導入し、生産工程の無人化や24時間稼働の実現を強力に推進している。生計AIの活用による熟練技能の可視化といったデジタル化の進展も海外人材を採用する動きも加速しており、柔軟かつ攻めの経営姿勢が鮮明となつてい

さらに航空宇宙や防衛といった成長分野への新規参入、サテライト事業展開、戦略的提携による生産ノウハウの共有など、持てる成長を見据えた多角化戦略も活発だ。独自の技術力と創意工夫によって次なる成長エンジンを用意しつつある。現在の景況感や将来展望を語ってもらった。

小原歯車工業

— 景況感の現状は —
「売上高は前年比98%と微増にとどまるが、原材料費高騰による価格転嫁の影響が大きい。実際の仕事は減少傾向で現場の危機感も強い。数量減産も増え、キヤッチアップが続いている。一方で高機能に伴うロボット投資をはじめとする省力化設備への需要は堅い。当社は供給する量もこの自動化の波をいかに捉えようかと奮闘中だ。省力化投資を推進している。」

— このほかフランク製機、放電加工機、ROBOCUT、QC4 —
「J2000NO」と協働ロボットの組み合わせを年内に新規導入する。ロボットが加工前の歯車を加工機にセット。さらに加工機内には回転軸の中心を正確に合わせる高精度のタチセンサーを搭載し、軸の中心把握を自動化し、歯車製造や芯出しなどの段取り作業を無人化し、24時間稼働を実現する。」



社長 小原敏治氏

放電加工機・協働ロボの自動化ライン導入

— 景況感の現状は —
「今年半の景況感。『自動業界向けは更なる需要があるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の普及でエンジン用金型製作の増加が期待できる。』

— その他の分野は —
「半導体製造向けについては2026年は伸びると予測している。航空宇宙分野も需要に伸びる。新機はロボット用金型も昨秋から生産がスタートした。27年には創業70周年を迎えるため、新機も導入する計画だ。」

川金ホールディングス

— 景況感の現状は —
「今年半の景況感。『自動業界向けは更なる需要があるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の普及でエンジン用金型製作の増加が期待できる。』

— その他の分野は —
「半導体製造向けについては2026年は伸びると予測している。航空宇宙分野も需要に伸びる。新機はロボット用金型も昨秋から生産がスタートした。27年には創業70周年を迎えるため、新機も導入する計画だ。」



社長 鈴木信吉氏

半導体向け好調、新中計で売上高500億円目指す

— 景況感の現状は —
「今年半の景況感。『自動業界向けは更なる需要があるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の普及でエンジン用金型製作の増加が期待できる。』

— その他の分野は —
「半導体製造向けについては2026年は伸びると予測している。航空宇宙分野も需要に伸びる。新機はロボット用金型も昨秋から生産がスタートした。27年には創業70周年を迎えるため、新機も導入する計画だ。」

フジムラ製作所

— 景況感の現状は —
「非常に勢いのある形で上半期を終えた。足元では特に半導体製造向けの大案件が動き始めており、今後の物量はさらに増加していく見通しだ。業務全体では厳しい半導体向けが、当社では半導体製造向けを追い風と捉え、今年度の売上高も当初計画を上振れる見込みだ。」

— 今後の投資計画は —
「自動化投資を加速させる。ロボット搭載の高度化や無人搬送車(AGV)の導入で生産効率を向上したい。またS/E採用の強化や生成AI(人工知能)の導入も進めたい。デジタルツールを活用して熟練技能の動員化や共有を行い、若手への技術継承を効率化する。」



社長 藤村智広氏

切削加工事業に参入、板金と一貫体制

— 景況感の現状は —
「今年半の景況感。『自動業界向けは更なる需要があるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の普及でエンジン用金型製作の増加が期待できる。』

— その他の分野は —
「半導体製造向けについては2026年は伸びると予測している。航空宇宙分野も需要に伸びる。新機はロボット用金型も昨秋から生産がスタートした。27年には創業70周年を迎えるため、新機も導入する計画だ。」

田口型範

— 景況感の現状は —
「今年半の景況感。『自動業界向けは更なる需要があるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の普及でエンジン用金型製作の増加が期待できる。』

— その他の分野は —
「半導体製造向けについては2026年は伸びると予測している。航空宇宙分野も需要に伸びる。新機はロボット用金型も昨秋から生産がスタートした。27年には創業70周年を迎えるため、新機も導入する計画だ。」



社長 田口脩一郎氏

金型切削用の高效率MCも今後導入

— 景況感の現状は —
「今年半の景況感。『自動業界向けは更なる需要があるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の普及でエンジン用金型製作の増加が期待できる。』

— その他の分野は —
「半導体製造向けについては2026年は伸びると予測している。航空宇宙分野も需要に伸びる。新機はロボット用金型も昨秋から生産がスタートした。27年には創業70周年を迎えるため、新機も導入する計画だ。」

川金ホールディングス
Kawakin

新たな価値の創造を Tomorrow's Technology, Today.

川金ホールディングスグループは、成形材・免振・産業機械の高度な技術とグループの総合力をもって、高品位の製品とサービスを提供し、安全で安心できる快適な生活・社会基盤作り貢献していきます。

www.kawakinhd.co.jp

FALCON

一般鋼材・ステンレス・特殊鋼・非鉄金属・継手類
レーザ(2D・3D)・曲げ・孔あけ・溶接・その他

株式会社 FALCON
代表取締役社長 佐藤 義晴

〒334-0074 埼玉県川口市江戸1-16-15
TEL 048-285-5541 FAX 048-285-5542
URL : https://www.falcon-mp.co.jp

経済産業省関東経済産業局委託事業
経営のパートナーのお悩みは
埼玉県事業承継・引継ぎ支援センター
にご相談ください
相談無料！秘密厳守！
事業の存続に関する様々な課題の解決を支援する
公的相談窓口として、専門家が秘密厳守で相談
対応・アドバイスをいたします。

埼玉 事業承継・引継ぎ支援センター
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-17-15
(さいたま商工会議所会館4階)
TEL : 048-711-6326 FAX : 048-711-6378
hikitsugisaitama@vesta.ocn.ne.jp

精密無比

相澤鉄工所 シャーシ&シャーリングシステム
ADV-612 実演動画公開中

- 一体型の板押さえビーム方式
- 板押さえパットを角型採用し、狭い幅の材料もネジリを抑えて切断
- 対先から板押さえパット先端迄は5mmで歩留まり向上

相澤鉄工所 AIZAWA TEKKOSHO LTD.
〒334-0074 埼玉県川口市江戸1-16-10 TEL 048-281-3740
www.aaa-aizawa.co.jp E-mail kawaguchi@aaa-aizawa.co.jp

5軸加工の TP 田口型範

27台もの5軸加工センターを駆使した機械加工で製品もから量産まで！

φ1000までのワークに対応 75年以上培った技術力

【事業内容】
鋳造用木型 鋳造用金型 インペラ 試作鋳物 機械加工品

本社・川口工場 〒332-0032 埼玉県川口市市南青木2-20-15 ☎ 048-251-2765
福島工場 〒964-0981 福島県二本松市石高田4-123 ☎ 0243-23-2517

図面さえあれば 素早く製品化

産業用機械製造
食品加工機械製造
省力化機械設計製作
MC・NC機等による機械加工
各種機械の加工〜組立

沼口機械工業株式会社
〒332-0032 川口市市南青木2-6-1
TEL (048) 251-5784 ☎ FAX (048) 251-5726